

私の読書3選

暑い夏から一転、急に寒くなりました。皆さん体調を崩したりしていませんか？秋の夜長と言いますが、秋はどこへやら・・・そんな時は早めにベッドに入って、ゆっくり読書もいいですね。私が今年読んで面白かった本をいくつか皆さんにもご紹介します。あらすじはあえて載せていないので、気になった方はぜひ図書館で借りてみてください。

画像なし

『にじいろガーデン』

小川糸 集英社

今年は LGBTQ+という言葉を目にする機会が多かった1年だった気がします。本来、性自認や性指向の多様性は個人的なことのはずなのに、こんなに問題が複雑になる理由の一つは、そこに家族という社会システムが絡んでくるからではないでしょうか。家族とは何か、まずはそこから考えてみませんか。

ちなみに作者は「家族とは幸せな時間の共有」だと言っています。皆さんはどう思いますか？

私はお笑いに詳しくないので、オードリーがどんな漫才をするのか知りません。このエッセイ本も、お笑い界の裏話のようなものはありません。ここに書かれているのは、自分は一段上にいるつもりで周囲を鼻でせせら笑い、でも本当は自分をとて嫌悪しているひとりの男性が、長い年月をかけてようやく少し楽に生きられるようになるまでの心理的なプロセスです。

「自分なんて平凡以下」と思いつつ、周囲からそう思われることが怖い・・・そんな風に考えたことがある人は、一度手にとってみてはいかがでしょうか。

画像なし

『ナナメの夕暮れ』

若林正恭 文藝春秋

画像なし

『空が青いから白をえらんだの
ですー奈良少年刑務所詩集』

寮美千子 新潮文庫

これは奈良少年刑務所(今は星野リゾートに改装中)で行われた矯正教育のひとつで、受刑者に詩を書かせる授業があり、そこで書かれた詩を集めたものです。「言葉」とは「心」です。人は言葉を通して世界を記号化し、自分の意識に取り込むことができるようになります。名前のないものを人は認識できません。カウンセラーは、名前のない気持ちや現象に当てはめる言葉を一緒に探す仕事なので、この詩集から学ぶことが多くあります。

帝塚山大学学生相談室 対面相談・電話相談

開室時間：月～金曜日 9:00～18:00(試験期間中・休暇期間中は9:00～17:00)

<文学部 経済経営学部 法学部>東生駒キャンパス Tel. 0742-48-9286

<心理学部 現代生活学部 教育学部>学園前キャンパス Tel. 0742-41-4860